S.COAT No.2000　T クリヤー

(高外観タイプ　4:1)

1. 製品の特徴

(4類第2石油類　荷姿 16L　2000年上市)

1）夏季の広い面積の塗装に最適。20 年のロングセラークリヤー。
2）高外観クリヤーで、高級車用に適し、平滑な塗り肌とツヤが得られる。
3）ワキ (アワ) 、モドリ (色の変化) が発生しにくい。
4）大型車の塗装に最適。大型のバス、トラック等の塗装に実績が多い。
5）加熱残分 38.5%　VOC 削減率 33.4%（TX クリヤー比）
6）実車塗装実績 300 万台。促進耐候性試験合格。

2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使時間

混合比率（重量比率）			希釈塗料の可使時間 (時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	25	20 ～ 50	4	2	1

＊シンナー希釈量は推奨量であり、気温・塗装面積により調整してください。

3. 乾燥時間

	乾　燥　温　度（℃）			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指　触　乾　燥	15 分	10 分	5 分	—
強制乾燥前セッティング	1 ～ 5 分	1 ～ 5 分	3 ～ 5 分	—
コンパウンド研ぎ可能	36 時間	16 時間	8 時間	30 分
屋　外　放　置　可　能	5 日	48 時間	24 時間	60 分
ガ　ソ　リ　ン　O　K	7 日	5 日	72 時間	60 分
再　塗　装　可　能　時　間	—	—	—	60 分
完　全　硬　化	—	—	7 日	120 分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。（標準膜厚30～50μ）

4. 硬化剤の気温による選択基準（Tクリヤー単独で1年間通じて使用する場合）

硬　化　剤　名	塗　装　温　度（℃）			
	5	15	25	35
速　乾	○	○	○	△
標　準	△	○	○	○
遅　乾	×	△	○	○
超　遅　乾	×	×	○	○

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2～3.5回。
　ボカシ塗装は残りのクリヤーに1回目シンナーを30～50%。2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。
※塗装の動画をYouTubeで公開しています。

5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合（S クリヤーとの併用）

製　品　名		適正温度範囲 (℃)			備　考
		硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬	S	5 ～ 15	10 ～ 15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋	S/T	—	15 ～ 25	—	S / T の併用あるいは混合で使用下さい。
夏	T	—	20 ～ 30	25 ～ 40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※TとSクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。